

学校生活の節目や学校行事を通して、児童の成長を確かなものに

校長 西宮 良雄

通知表を更なる成長の励みに

10月14日(金)は、1学期の終業式です。

3学期制の学期末とは趣を異にしますが、子供たちにとっては楽しみ、そしてちょっとドキドキもする通知表が手渡されます。

本校の通知表は、主に各教科・領域などの各観点に基づく評価、生活・行動の記録、そして担任からの所見・メッセージの3つの領域からなっています。

評価をするための資料として、ペーパーテスト、ワークシート、レポート、ノート、作文などの所謂紙ベースによる蓄積情報、図工や家庭科などの実技学習に基づく作品、音楽における歌唱や楽器演奏、体育における運動技術などの身につけた力、などその教科・領域が目指す固有の力を評価したもの、その他、興味・関心に基づく主体的な学習への取り組み、発表や協力などの学習方法、観察による思考・判断・表現力の見取りなど、多様な方法や観点から評価します。

そもそも教育評価とは、教育活動の中で、どのような学びがなされたのか、どのような育ちが実現したのかを確かめることであり、また、その結果を教育的にそれ以降の学習や生活に活用することです。

学習者である児童にとっての、通知表(評価)の意義を、以下に3点挙げてみたいと思います。

「学習の動機付けになる」

まず第1は、評価(テスト)のスケジュールに導かれて、着実な学習の積み重ねが可能になる、ということです。語学などテストに向けての習熟学習の動機付けになった、というご経験がおありと存じます。

「自分を知る機会となる」

第2は、評価によって自分自身の姿に気付く、ということです。つまり、評価を受け取ることによって、自分の強みや弱み、別の言い方をすれば良い点と課題に気付く、ということです。

「望ましい方向(価値)に気づく」

第3は、評価によって、自分に期待されている価値の方向性に気付く、ということです。先生から

「ここは、とても頑張ったね。ここのところはもう少し・・・」などという評価によって、示されます。

私は、特に自分の良さや期待されていることに気付くことが大変重要と考えています。通知表を通して、ぜひお子様と1学期を振り返り、お子様理解とコミュニケーションを深めていただければと存じます。

5年軽井沢移動教室を終えて

去る9月26日(月)から28日(水)までの2泊3日、5年生の軽井沢移動教室がありました。

宿泊体験学習は、今後、6年の移動教室、中学校のスキー教室、臨海学校、修学旅行などに繋がっていきますが、その出発点に位置するものでした。

宿泊施設の練馬青少年の家「ベルデ軽井沢」は、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、日本の代表的な避暑地である軽井沢の、雄大な浅間山を背景とした国有林の中にあり、一流ホテル並みの瀟洒な宿泊棟と広い敷地を有した施設です。

ベルデのスタッフの方々も、小学生相手だからと手を抜いたりせず、一流ホテル並みのサービスの提供に心がけてくださっています。

今回の移動教室のねらいは、キーワードで示すと
・「自然とのふれあい」「体験を通しての心身鍛錬」
・「責任遂行」「基本的生活習慣を身に付ける」
・「集団生活を通して協力、友情を深める」
の3点でした。

初日の妙義山登山は、希望者は鎖場を体験しました。

斜度70度ぐらいの「カニのたて這い」は、実感的には90度の絶壁です。危険の一字で、計画や挑戦を回避したとしても非難はされないでしょう。岩壁登攀のスペシャリストでもあるベルデ支配人の手水さんと、スタッフの吉田さんを先達として、正しく安全な登攀方法のご指導のお陰で、挑戦した児童全員が登攀の快挙を達成しました。緊張と勇気によって得た成就感は、大きな自信になったことと思います。

2日目の林業体験は、植林後40年のアカマツ林の間伐とその間伐材加工の体験学習です。生の立木を伐採するなどという経験は、現在では焚き火と同じぐらい困難なことだと思います。木の倒れる方向を見極めて鋸を入れたり、鋸挽きをしているうちに鋸が挟まれる力をいかに回避してリズムカルに伐り続けたりする技は、体験でなければ知ることはできません。

出来上がったコースターや写真立ては、まさしく汗の結晶でした。

キャンプファイヤーでは、新月の暗闇に燃え盛る炎が一層雰囲気盛り上げ、集団的な熱気が覆いました。

その他の体験活動、宿舎での生活を通して、上記の目標に迫り、児童にとっては大変充実した有意義な3日間となりました。現地の方々、学校や家庭で見守ってくださった方々に改めて感謝申し上げます。

生活目標 「みんなで仲よく遊ぼう」
 あいさつ目標 『いっしょに遊ぼう』声かけて
 保健目標 「目を大切にしよう」
 給食目標 「みんなで楽しく食べましょう」

- ◆ 心のふれあい相談員の来校日
 - 学校図書館開放日
 - 校庭開放日
 - ◎ 向山ひろば開設日
- } 17:00

平成23年 10月行事予定			心	図	校
1	土	都民の日 向山保育園運動会		□	
2	日	避難拠点訓練 一般参加訓練		□	
3	月		◆	□	○
4	火			◎	
5	水	校内研究授業(2年1組)		◎	
6	木	安全指導・点検日		◎	
7	金	保護者会(123)(456)	◆	□	○
8	土	風の子保育園運動会		□	
9	日			□	
10	月	体育の日		□	○
11	火	カリオスタット検査(5年)		◎	
12	水			◎	
13	木	歯科検診(全学年)		◎	
14	金	1学期終業式	◆	□	○
15	土	小P連卓球大会		□	
16	日			□	
17	月	2学期始業式 クラブ活動	◆		
18	火	避難訓練		◎	
19	水	研究授業(6年1組)		◎	
20	木	全講遠足		◎	
21	金		◆	◎	
22	土	学校応援団ひろば祭り		□	
23	日			□	
24	月	読書旬間 クラブ活動	◆		
25	火			◎	
26	水	教育会全体研究会		◎	
27	木	全校遠足予備		◎	
28	金		◆	◎	
29	土			□	
30	日			□	
31	月	委員会活動	◆		

心の窓～5年生～

9月26日～28日の軽井沢移動教室は5年生にとって初めての宿泊行事でした。

移動教室に先立って、学年集会を開き、旅行との違いや目的、見学先や宿泊施設の一部を紹介し、移動教室に向けて決意を新たにしました。

2週間前から本格的に係活動が始まり、学級を超えて係毎に準備を進めていきました。一人ひとりが創意工夫し、楽しい移動教室にしようと張り切って取り組みました。

また事前学習として、自分たちが行く場所やそれに関連する事柄についてテーマを決めて調べ、新聞にまとめました。調べ学習に苦手意識をもっていた子も、移動教室に胸を膨らませ一生懸命調べました。

軽井沢では普段できないことたくさん経験しました。担任の想像以上に頑張っていた子供たちは、初めての経験でも自分たちの頭で考え、動き、吸収し、充実した時間を過ごして帰ってきました。今回大きく成長した5年生。移動教室での経験をこれからの学校生活に生かしていけるよう、担任一同頑張りたいと思います。

- 1組 担任 池田 哲也
- 2組 担任 瀧田 幸
- 3組 担任 松村 由佳

全校遠足について

10月20日(木)は全校遠足です。場所は光が丘公園です。行き帰りは学級で移動しますが、公園の中ではたてわり班に分かれてウォークラリーをします。

1年生から6年生までが同じ班で歩くので、下学年のことを思いやりながら、ポイントを探し協力して得点を重ねます。秋の自然の中で楽しく歩き、様々なことを学んでほしいと思います。